広報 こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
編集発行 印刷人 矢部藤三郎

プール建設を促進せよ

全町民の盛り上る力で

長い学校の夏休みも終って爽風わたる收獲の季を迎えた。ふりかえってみてほっとすることは今年は当町に一つも水難事故のなかったことである。これは勿論学校当局の適切な指導と地域父兄の協力によるものではあるがその反面、子供達自身はとんど禁止に近い水泳上の制限をうけた結果とも思われる。生命尊重の立場から、これは止むを得ないと言いばそれまでであるが、それにしては余りに子供達が可愛そうだせめて猛暑の期間だけでも存分に水遊び位やらせたいものである。

そこで問題は昨年来の「プール建設の件」であるが、小、中両校のPTAが主軸になって研究委員会が組織され、先進各地の実際等も視察し、着々実現への基礎を研究されつゝあることに我々は大きな期待をもってきたものである。幸い委員諸氏の御努力により、一応の基礎的成案ができ上ったのでこれが報告をかねて、今後の推進方法を図るために去る四日小学校大講堂で小、中両PTAの連合会総会が開催されたところが定刻になっても出席者は指をおって数える程度、小須戸時間の一時間おくれ開会二時半でようやく六、七十名それも過半は中小両校の職員という寥々ぶり。町部及び山の手の熱心な数氏から活潑にしてしかも適切な意見が開陳されたことがせめてもの救いであった。結局参会者不足のため研究段階から建設段階への正式決定はしばらく見送りとし、当面の推進方法として次のことが議決された。

◎全地域へ趣旨の周知徹底を図ることによって強力な輿論を盛り上げる。
◎方法として全町十六地区と戸石を加えた十七地区毎に懇談集会を持つこととし、それには研究委員会と学校職員が当る。
◎これと併行してプール建設促進委員会を発足させ、委員には地域を勘案して前プール研究委員その他より選ぶこととし、人選は小、中両PTA会長に一任する。

さてこうしてプール問題は一歩前進したものの何か前途に一抹の不安を思わせるものがある。それは小須戸町民性の欠点の一つでもあるが、いわゆる「二階へ上げて梯子を引く」やり方である。

「決議には賛成したが仕事のお手つだいはいやだ」「趣旨は了承するが金を出すことはいやだ」「誰かがやってくれるだろう」もしも全町民がこんな消極的態度であるならばせっかくのプール建設運動も何時実現に到るか分らないばかりでなくどこかの仏舎利塔のように自然消滅に陥るおそれもないとは言いない。

再び言う。子供達が可愛そうだ。せめて猛暑の期間だけでも存分に水遊びをさせてやろう。全町民の盛り上る力で立派なプールをつくってやろう

小須戸町教育目標

一、民主的で明朗な人となる
一、文化的で心身ともに健康な人となる
一、生産的でたくましい人となる

道路や小川に生きた補修を

吾々の日常生活の中でもっとも密接の関係をもつ愛村の道路(市町村道)について雨が降る度に毎度感じているのだが、今迄ここ数十年来雨期や豪雨になると必らず道路や小川が破壊し村中の人達が總出でその修繕を行って来たが、それは一時的な気休め修繕と言はざるを言ない。こんなものの言い方をすると今迄御尽力なされた方々に怒りを招く恐れがあるがしかしこれに対処する創意工夫の不足から今日に至っていることを思いば致し方ないと思う。あらゆるものは總て近代化し町行く人の服装も色とりどりに美しく飾られて来たが道路や小川の修理だけは今も昔も変りがない、十年一昔というがその幾昔も前からの修繕方法を繰返しているに過ぎない、ほんとに一時的なコウ薬貼り修理でかろうじてその場を切抜けて来ているが、半年とも満足に持たない事実を見てもいかに気休め修繕が無駄である かは過去の経験で明らかな通りである、道路や小のカワラ修繕で金と労力を雨になるとはいいないが」旧態依然たる修理方では効果がない一度小川の側板や杭に眼をやれば説明の要もない と思う。一ト雨降れば+トのモクアミでは、確実な事業であることが見逃せないが、只予算予算と言って従来の修理を繰返しているのではサイ血税の金と労力を犠牲にするばかりである。今迄のように、良きにつけ悪しきにつけその影響を受けていると思うとき、旧態依然たる修理を大人たちは大いに反省し是正すべきであると思う。今後も又これを繰返されるのであれば時間と経費と労力の損失をもたらして空まわりするだけにおわるだけである、町当局及び部落の方々にこうした点を十二分考慮され今後の行うべき一新の方向を明示し御何割かを永久的基礎補修尽力を願うと共に吾々住民も又多少新味を加えてコウ薬貼修理から水久的なものに一歩でも近づいて行くよう努力が必要である。住み良い町は私共自らの手で作って行かなければだれが作ってくれる。

矢代田　壷屋　德一

長年のこれに費やした経費を累計したならば巨額の血税の金と幾千人幾万人もの労力の犠牲にひとしい。

一時的修理と永久的修理とでは、どっちが文化点的に行なうなら必らず完成することで、完成すれば年々数万円の補修費と労力が無用となって磐石の基礎の上に立って行うことは、まず望みうすとしても長期計画で重ねキッパリした態度で気休め修理から水久的修理に踏切って貰らいたい。今ましょうか。

その場限りの修理とくらべたらどれほど安いことか。窮苦にあいぐ財政上の負担となる。

その場限りの修理から永久的修理に切替るべきである、永久的修理も一時的なコウ薬貼り修理を繰返して来たのはなぜであろう? 道路や小川の整備については簡単に判断はできないけれども何か異った見方が胸中にある。今更ここで言っても取返しはできないが町当局が年々各部落へ交付する補助費の中その何割かを永久的基礎補修費として明らかにして交付していたならば、すでに数年前に改善是正されていたであろうに……と思うと、もっと勇敢に自らの手で作って行かなければ時間と経費と労力の損失をもたらして空まわりするだけにおわるだけである、町当局及び部落の方々にこうした点を十二分考慮され今後の行うべき一新の方向を明示し御尽力を願うと共に吾々住民も又多少新味を加えてコウ薬貼修理から水久的なものに一歩でも近づいて行くよう努力が必要である。住み良い町は私共自らの手で作って行かなければだれが作ってくれる。

矢代田　壷屋　德一

切ることができ得るのかは今、旧から新へ改善しなければ次代を背負う若人も知らず知らずの間に大人たちの生活態度に感化され、良きにつけ悪しきにつけその影響を受けていると思うとき、旧態依然たる修理を大人たちは大いに反省し是正すべきであると思う。今後も又これを繰返されるのであれば時間と経費と労力の損失をもたらして空まわりするだけにおわるだけである、町当局及び部落の方々にこうした点を十二分考慮され今後の行うべき一新の方向を明示し御尽力を願うと共に吾々住民も又多少新味を加えてコウ薬貼修理から水久的なものに一歩でも近づいて行くよう努力が必要である。住み良い町は私共自らの手で作って行かなければだれが作ってくれる。

矢代田　壷屋　德一

行動美術展入選四回目

中学校　小田先生

美術のシーズンを迎えて中央における大展覧会が次々と計画されているそのさきがけとして去る一日から上野美術館で開催されている行動美術展覧会に中学校の小田哲先生は力作三点を出品し中「蝕」「軌」の二点が堂々入選の栄誉をかち得られた。小田先生はこれで同展覧会に入選すると四回目で、特に本年は全国より数千点の出品があり、非常に厳選であっただけにその偉業がたたえられる。

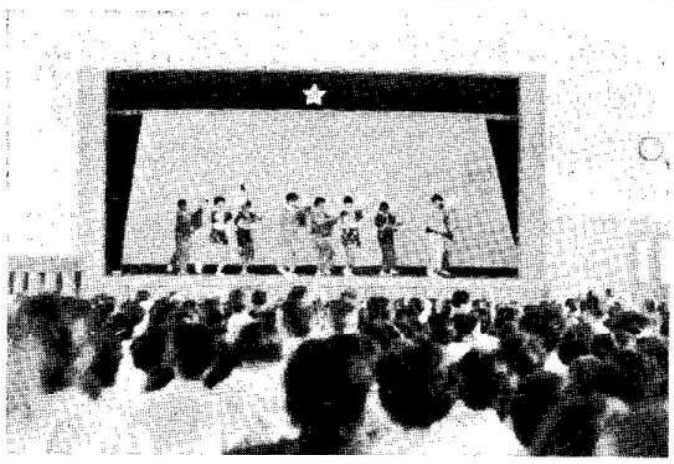
山の手敬老会

盛り沢山の演芸で

——婦人会で座ぶとん贈る——

山の手敬老会は去る九月一日矢代田分館主催で八十才以上の老人二十九名をお招きして婦人会各部落青年会及び学童の演芸がもよおされ、終日盛りたくさんの舞踊、劇を披露し有意義な一日を過しました。

なお山の手婦人会から八十才以上の老人に座ぶとん一枚ずつ寄贈された。



もれなく選挙の資格申告をしましょう

二十日まで嘱託員へ

毎年何かの選挙が一回乃至二回は行われて居ります本年も既に五月衆議院議員の總選挙が行われましたことは御承知の通りであります。

来年は今迄と違って殆んどの地方選挙が行われることになって居りますこんどは特に有権者の方々から御注意を払って頂き行使出来得るべき有権者が僅かな手違いから折角の選挙を行うことが出来ない事のないよう御注意下さい。

選挙資格の申告書は近く有権者の各戸へ配布されることになって居ります。

町の選挙管理委員会では公職選挙法に基づいて毎年九月十五日現在で基本選挙人名簿を調製いたしますが、この出来上る名簿は本年十二月二十日に確定し、同日以降昭和三十四年十二月十九日までの一ヶ年間は有効となり總ての選挙に用いられる大切な基本名簿となるのであります。

明年度行われる地方選挙を挙げて見ますと

県知事　県会議員
市町村長　市町村会議員
参議院議員等の選挙が予定されて居ります。

次に申告書に記載すべき者は

一、資格申告をするもの
1・日本国民であること
2・昭和三十三年九月十五日現在で引続き三ヶ月以上小須戸町に住んで居る者
(即ち本年六月十六日以前より居住して居る者)
3・昭和三十三年十二月二十日現在で満二十才以上となる者
(即ち昭和十三年十二月二十一日までに出生したもの)

二、選挙権がなく申告する必要のないもの
1・禁治産者
2・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終るまでの者
3・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を受けることがなくなるまでの者

三、特に申告するに当って注意を必要とする点
1・病院その他に入院し然も長期療養者であっても、選挙権は入院前の住所で申告することになりますから留守宅でお忘れなく記入すること
(例えば柏崎、新潟その他結核療養所の入院患者等)
2・僅かの期間を定めて現住所を離れ他町村へ病気出産の看護又は付添え等に出られた方も留守宅で申告をすること
3・小須戸町内で婚姻養子縁組等に依り他町内に稼いだ場合は婚家又は養家等で申告をし、双方より重復した申告をやらないで下さい
(例 矢代田より横川へ稼いだ場合は横川の婚家先で申告をする)

何れも、本年九月十五日現在を基本として調査いたします。

但し 満年令二十年に達し該当するものは前に書いた通り本年十二月二十一日までに達した者を含みますから御注意下さい

水道拡張工事完工

出ない水道から出る水道へ

夏期の部落の水不足を補うため八月一日から十二日まで突貫工事を実施してお盆やお祭の水不足も解消して部落の人達から喜ばれている。其の他の工事も八月三十日に完工した。

即ち工事請負者新潟企業株式会社、工事施行者新津宇野土建
工事費 壱百拾万円

新規に新町より中学校に向かう農道にエタニットパイプ三吋管六六八米を敷設して部落には従来の水に近い量を補給した。

中学校前より新保県道西ッ角まで既設三吋管を四吋に二七三米伏せ替え新保県道四ッ角より坂秀自転車屋前まで七六米既設鋳鉄管四吋をエタニットパイプ四吋に伏せ替え又県立小須戸病院へ四吋西ッ角まで既設三吋管を四吋に二七三米伏せ替え新保県道四ッ角より坂秀自転車屋前まで七六米既設鋳鉄管四吋をエタニットパイプ四吋に伏せ替え又県立小須戸病院へ四吋水に近い量を補給した。

中学校前より新保県道

待つばかりとなった。

尚急速濾過池二池の清掃も実施して濾過能力を約四割近く発揮させることができた。

護摩堂山頂での中秋の名月観賞会

日時　九月二十七日 午後五時　公民館前出発
乗り物　貸切バス
費用　二百五十円　申込時納入
申込　二十五日まで　公民館　山岳会員宛
主催　小須戸山岳会　後援　公民館

小須戸風土記

『天ケ沢の狐の卵』

柏大治

天ケ沢感応寺は法華宗本山三条本成寺の末寺で寛文十一年本山の二十八世日延上人が隠居して草創された寺ですが、そこには昔から狐の卵が祭られています。

狐が人をたぶらかすという話は聞いていますが狐が卵を生むということは学理上あるべからざることですが、土地の人達は此の卵を宝珠の玉とあがめたてまつっております。昔天ケ沢の吉助という猟師が寺の裏山に狩りに行き、その日は常になく獲物がないので帰ろうとしておると大きな白狐が一疋姿をあらわしたので喜んだ吉助は白狐を追うて行きますと、いつの間にか姿を消した。そのあとにこぶし大の白い毛の生えた卵を見つけたので珍しいから寺に奉納したともいい、又一説には五十嵐才務という武士が夢の中で白髪の老人から汝この宝珠を信仰するならば開運出世うたがいなしと授けられたともいわれていますが、いつの時代にか寺へ納められ寺では稲荷堂を建て御神体として毎年五月十六日祭日としてお祭り致しております。

戦前は御利益があるということで新潟、長岡或は遠く東京方面からも相場師や請負師などが参詣してにぎわったものです宝珠は白い毛の玉で手にさわると生きておるようにふわ〳〵しております現住職の土田照山師もくびをかしげて不思議の玉だといわれています。学者から調査研究をしてもらいたいともいわれております。

とにかく出世開運を願う人は御利益があるそうですから一度は参詣してよいでしょう。御開帳はいつでもして下さいます其の他寺には宝物として行基作と称する仏像や横川浜辨天堂の兄弟作の珍しい辨天様も安置されています。

なぎさ

忍びくる秋

年に一度の秋祭も無事終えて、心配された二百十日もあぶないながらも遠のき朝に夕にと農家の方が一生懸命に取り入れに励む姿が見受けられる頃となった。

幸か不幸か最近雨近い天候で、矢代田県道はちりも立たゝず澄み切った大空の下を自転車で走ると又楽しいものである。

忍び来る秋と言っても日照りが少し続いた矢代田県道は自動車に出合えば、もうもうたる砂塵になやませられながら、やむを得ず農道を走っている。

農家の方々は猫の手も借りたい忙がしい季節なので、農道を通るものはなるべく農家の方の迷惑にならない様お互に注意しながら通ろう。

それにしても塵のかからない舗装とまではいかなくともものんびりと楽しく、安全に走れる道路はできないものであろうか

それは町民誰しもがねがっている夢でなく実現したいものである。

百姓を思う通勤者

同居か？……別居か？……
新婚夫婦

第二回母と娘との気持をかよわす会

とき　七月三十日夜
ところ　公民館
内容　今後の家庭生活
司会　坂井中学校長
主催　小須戸分館

まず司会者より動機づけとして、「進んでものをしゃべらない態度は世の識者の心配しているところであり、話しあうところに共通の理解も生まれるということを心にとめて積極的に話を進めて欲しい」と話される。

◎結婚後親と同居、別居の何れを望むか。

娘の一　結婚後理想としては同居を望まない。

主婦の一　これまでの家族制度がよい。親子の別居は思っても淋しい。みんな順々こだ、年寄りになれば親子の同居を望むのだろうが、楢山節考は身のつまる思いがする。

若い方は別居を望まれるが職業により、又経済上できない相談のような気がする。特に長男からは家を守ってもらいたい

主婦の二　別居は若い方に困るのではないか、どうも若い方は勝手すぎはしないか、生活上の訓練を身につけ、親を助けるほどの力を持ってこそ別居を考えたらよいと思う。

主婦の三　親と一緒にある覚悟で嫁になって貰いたい。

主婦の四　他人が入るともめごとがおきると思いすごすかたむきがある。

娘の二　親と別れて暮らす気持がわからない、嫁になったら自分の子同様に考えて欲しい。

司会者　そうなればよいのだがそこがむずかしい点であろう。親、夫、妻の三者がどうあったらよいのか話してほしい。

◎親、夫、妻の立場

主婦の一　夫は嫁のめんどうを見すぎていないか

主婦の二　妻のやり方が大切だ、親のめんどうをよく見てやることだ。

主婦の三　妻より親を大切にしたら。

こゝで娘の発言として年寄に愛を持ったらね。

主婦の四　親を思ってやっても親の方でやきもちもある。……自分だけをのけものにしてすぐ二階の隅っこにゆきたがるといわれる。

主婦の五　あきらめ一つだと思う。親のあきらめで家の中がまるくなっていく気がする。

主婦の六　夫の出方も大切だ、妻と二人だけの話として胸におさめないで妻のぐちや考え方をすぐとり上げ親にきつく当たるとめんどうがおこる

司会者　このあたりは男の方の認識をあらたにしていただきたいところだね。

ここで母側より「生活の見通しにより別居するのかその場合は当然共稼ぎを考えておることだろう、よい家に嫁にいくと怠けぐせがつくといわれるが夫に万一のことがあった時自立するだけの覚悟は持たねばなるまい」

町民運動会一景

との意見がでて何故別居を望むかと話は転回する

◎気楽のためか、条件による別居であるのか。

主婦の四　親を思ってやっても親の方でやきもちもある。……自分だけをのけものにしてすぐ二階の隅っこにゆきたがるといわれる。

主婦の五　あきらめ一つだと思う。親のあきらめで家の中がまるくなっていく気がする。

主婦の六　夫の出方も大切だ、妻と二人だけの話として胸におさめないで妻のぐちや考え方をすぐとり上げ親にきつく当たるとめんどうがおこる

司会者　このあたりは男の方の認識をあらたにしていただきたいところだね。

ここで母側より「生活の見通しにより別居するのかその場合は当然共稼ぎを考えておることだろう、よい家に嫁にいくと怠けぐせがつくといわれるが夫に万一のことがあった時自立するだけの覚悟は持たねばなるまい」

主婦の二　それは心配ない。ある家では長男が他家の一人娘と結婚して立派にやっている。要は理解ある姑であればだね。

人間に対する愛情、教養が欲しい、親がいつまでも昔流儀では娘が気の毒、「ハイハイ」という嫁がよい嫁だ」といわれる時代はすぎた。恋愛については理性のかった恋愛を親は希望する。

娘の二　一対一になるまでは多少の話合いの時間をかけるべきだ。

娘の三　ボーイフレンド（男友達）を世の親たちが、すぐと変な目で見るのには困る。

主婦の三　妻より親を大切にしたら。

こゝで娘の発言として年寄に愛を持ったらね。

主婦の四　親を思ってやっても親の方でやきもちもある。……自分だけをのけものにしてすぐ二階の隅っこにゆきたがるといわれる。

主婦の五　あきらめ一つだと思う。親のあきらめで家の中がまるくなっていく気がする。

主婦の六　夫の出方も大切だ、妻と二人だけの話として胸におさめないで妻のぐちや考え方をすぐとり上げ親にきつく当たるとめんどうがおこる

司会者　このあたりは男の方の認識をあらたにしていただきたいところだね。

ここで母側より「生活の見通しにより別居するのかその場合は当然共稼ぎを考えておることだろう、よい家に嫁にいくと怠けぐせがつくといわれるが夫に万一のことがあった時自立するだけの覚悟は持たねばなるまい」

娘の一　本人と相手次第でかわってもこよう。

主婦の一　好き添いはよいことがないといわれるが。

主婦の二　それは心配ない。ある家では長男が他家の一人娘と結婚して立派にやっている。要は理解ある姑であればだね。

人間に対する愛情、教養が欲しい、親がいつまでも昔流儀では娘が気の毒、「ハイハイ」という嫁がよい嫁だ」といわれる時代はすぎた。恋愛については理性のかった恋愛を親は希望する。

娘の二　一対一になるまでは多少の話合いの時間をかけるべきだ。

娘の三　ボーイフレンド（男友達）を世の親たちが、すぐと変な目で見るのには困る。

司会者　集団的の交際が伝統的に発達していない日本としては考えねばならない問題である。

母の一　別居は子供のためを思ってやる。

娘の一　別居をすると淋しくなるのじゃないか：特に新婚時代（世間などと交際のことで何も知らないから）年寄りになった時。

母の一　親から離れたくない心情が残ってならない。気楽な点ではよいかも知れないが。

母の二　もう少しおしゆめて考えて欲しい、それは便宜的でなくて……年寄りの気持を汲んでもらいたい・苦労してきた親を思って欲しいということです。

司会者　まったく同感です。それと来た人の心持を考えることも忘れないことですね、決して身構えせず、他人だという考えをぬかす。お互に民主主義はわがまゝすることでないこと心にとめて両方で考えを深めることが大切ですね。

結論として日本の法律がかわった今日、親の覚悟が大切である。民法では男子満十八才女子満十六才で結婚ができ成年に達したことになる。結婚すれば戸籍は親と夫婦は別になる、然し扶助の精神は決して薄れてない。

同居しているものは互助の任務（義務）がある養っていけない場合は私的扶養（直系親族の助け合い）公的扶養助（役場養老院）二つがあって生の権利を守ってくれてある。もちろん現実面では理想とはほど遠いものはあろうが、わがまゝな心を殺しあい円満にやっていくことが道である。

譲りあい遠慮なくわだかまりなく、明けっぱなしにやることを信条として

（文責　橋本）

A君の話（二）

杉田優

A君の趣味の一つに写真がある。これとても単なる趣味でない。

オリンパス何とかいう彼の愛用のカメラは、教育用品の免税で手に入れたものだ。

時折彼の机上に、できたての写真が、時ならぬ雪片をうず高く散乱させる。大部分には、生徒達のありふれた姿態が撮られている。つまり彼は修学旅行の随行写真屋であり、運動会などでは当日の役割を放棄したカメラマンであるのだ。

行事が終って数日すると、スナップがずらりと廊下に展示される。「実費四十円、希望者は下表に記名のこと」と付記される。

まだカメラは稀少時代であった。生徒は九百人位だった。かなりの需要であったようだ。それにどこでどのように渡りをつけるのか私などお目にかかる機会もない町工場の織姫様などの丸顔が、かなり多数まじっていた程よくちらちらとヌードを散見させるといったなかなか品のいいアルバイトであった。

山あいの小さな町のことで、散歩するところとてない。映画や常設館はない。ぶらりと出かけても結局パチンコあたりがオチだ。

A君のお手並は「ホームラン」でチョイチョイ拝見した。いかにも彼らしいやり口である。

両脚を八の字に開いて足場を固め、長身を盤面におっかぶせる、その玉の動きを凝視しつづける真剣な目の色は、教壇上の彼にはとうてい発見し得ないものである。玉を左の指先でねじこむようにして、一つ一つ穴に落す。ぐっとにらんでパチンとばねをはじく、とたんに頬の肉がピリっとひきしまる。とたんに口辺が、モグモグと動く。講談でやるように奥歯をバンリバンリとかみしめて いるのかもしれない。

とにかくいつもの彼ではない。しかし、心なき玉はA君の意のままというわけにはいかない。手持があやしくなる。と、「おい大番！でないぞ」と叫ぶ。「ホームラン」にはこの春卒業したばかりの娘がいる。後へまわった娘が「どうしました？」「当りだよ……左の足だ……何ィ……絶対に違わない」

これを二、三度やって「光」の五つもたもとに入れると、さっさっと引き上げる。あざやかなものだ、ところで側に証人がいることがある。

「いまの、アウトでしょう？」「あれ？、そうか当りなはずですがねえ。そうでしたか。どうも電灯がこう暗くては玉の方がねえ」

きいている者には、間違っているのは玉の方だという感じがする。ケロッとした顔付はもう、確かにいつものA君である

職場でも、映画館のパスのようなものなどとにかく行方不明に関することは、一応A君に聞いてみることにしていた。

A君の趣味は大方このたぐりで、その他もろもろは紙面の都合もあるし御想像いただくことにする。

なごやかだった職場親善運動会

去る八月十七日公民館教委、社会体育推進員協議会共催で各事業所、官公署に働く人々の健康の増進と各職場間の親ぼくを深めようと、この度第一回小須戸町職場親善運動会を開催した。

参加各事業所を六チームに編成、陸上競技に、またレクリエーション的種目と盛りたくさんのプログラムでお盆休みの一日を楽しく過した。

来年はもっと気がるに参加出来るようレクリエーション種目を主として六月頃おこない更にと沢山の事業所から参加していただこうと考えております。

入賞チーム

一位　学校チーム
二位　田中チーム
三位　郵便局チーム
役場チーム

卓球大会も開催

なお、一月頃、職場親善卓球大会を開催する予定でありますから多数チームの参加を望んでおります。

兎谷チーム分館長杯獲得

恒例の山の手野球大会は天候に恵まれた八月十五日五チームによって終始はなばなしく熱戦が展開され、一位の兎谷チームには分館長杯が授与された。

成績

一位　兎谷チーム
二位　駅前チーム

新大附属病院保険給付の取扱いについて

（二階のレントゲン室へ行く廊下の途中に国民健康保険出張所と掲示されています）そこへ出張員を配置して国保の事務を取扱しておりますから、病院で診療された費用の受領証は、なるべく一ケ月分ずつまとめて出張所へ提出して下さい。その際は身分を明示する為小須戸町国保の受診証と診察券を一緒提示して下さい。そこでは受領証の預り証を出張員がお渡しするようになります。

それで一応皆様の手続きは、すんだ事になりますが、出張員の方はそれによって診療報酬請求書を作製し中蒲原国保審査会へ送付し、そこに於て社会保険、診療規程により審査をなし役場保険係へ送付されてきます。

役場では支払の日を定めて患者方へ通知し支払をすると云う事になりますその場合病院出張所よりの預り証に記入された金額のほゞ半額が支払されるわけですが審査会で審査した結果減点されたり町の給付条例以外のものの場合もあります。

支払を受ける迄には相当日時がかかりますが保険給付の公平を期する為には止むを得ない事なのでこの事を充分周知され御協力下さるようお願いいたします。

（厚生課）

◎講師　増尾栄子先生

幼児の導き方座談会

◎時　十月十日
◎場所　公民館

自衛官募集案内

三十三年度第三次陸、海、空自衛官募集が左記の通り開始されております、

記

一、志願資格
昭和三十四年一月一日現在満十八才以上二十五才未満
二、受付期間
九月一日から十月十日まで
三、志願手続
役場から志願票一通を受取り所要事項記入して役場に提出する
三、試験
十月十九日から十一月五日までの間一日
国語、数学、社会、身体検査
四、任用期間
陸上二年
海上二年
航空三年
五、入隊後
二等陸、海、空士に任用（月額六一五〇円）
その他役場総務課に問合せ下さい。

クイズ懸賞第九回

さあ家中そろって考えましょう

次にあげた昔ばなしの主人公の持ち物は何でしょう？（あとの答の中から正しいものを選んで番号の下に、その記号を書いてください）

1 桃太郎　2 金太郎
3 浦島太郎　4 牛若丸
5 一寸ぼうし　6 花咲じいさん　7 舌切雀のおじいさん　8 かちかち山のうさぎ　9 さるかに合戦のかに　10 大江山の酒てんどうじ

答

イ にぎりめし
ロ 灰かご
ハ まさかり
ニ おうぎ
ホ さかすき
ヘ つりざお
ト はり
チ 火うち石
リ きびだんご
ヌ つづら

◎〆切　九月二十五日
◎用紙　官製はがき
◎宛先　公民館クイズ係
回先号のクイズ解答並に正解者名発表

1 雨　2 時計　3 かえる　4 はさみ　5 すすめ　6 ろ　7 汽車　8 肩たゝき

小林あき子　上田町
久保　勇　三ノ町
川瀬マサ子　四ノ町

賞品は公民館で受取り下さい。

九月購入図書

◇ツンドラの女　柴野敏江
◇負けない男　佐々木邦
◇橋　大仏次郎
◇くそばえ四十年　溝淵忠広
◇女は太陽の如く　石垣綾子
◇織田信長㈢　桶狭間の巻　山岡荘八
◇親鸞とその妻㈢　丹羽文雄
◇眠狂四郎無頼控㈥　柴田錬三郎
◇運河（上）　丹羽文雄
◇尋問　アンリ、アレッグ
◇へそくり社員　北町一郎
◇富士の初雪　川端康成
◇世界ロマン全集　すべてこの世も天国も　フイールド
◇黒いチューリップ　デュマ
◇ゴルゴタの七　バウチャー
◇四万人の目撃者　有馬頼義
◇青春をわれらに　源氏鶏太
◇試行錯誤　バクリー
◇ジャドウ（東洋の黒い魔術）　ジョン、キール
◇風の中の青春　檀一雄
◇是非読んでほしい本　林田茂雄
◇漱石の悲劇　偉大なる作家としての漱石の魅力のあの広さと深さはいったいどこから出ているのであろうか、著者は掘りさげてみたいと考えていたという。この本はその最初の一里塚であるといっている。
◇実録朝日新聞　細川隆元
いままで出ている新聞記者ものは多く軟派記者の書いたものであったがこの実録朝日新聞は硬派記者の書いた新聞社の内幕という意味で面白く、政治部記者の主観や取材の生態を知るうえに役に立つ面白い読物。
◇人間の記録双書　主婦　大村重子　他著
ここに掲げる二十一章は旧日本の厚い壁を立ち割る主婦の人間宣言である。悲愴、痛切などというじめじめしたものではない。それは「母なる太陽」の声々だ。全日本の家庭に贈る愛情と新生の書。
（書評は新刊ニュースその他による。）
◇キネマ旬報
◇オール読物
◇文芸春秋
◇婦人朝日
◇相撲
◇野球界
寄贈図書
竹井製作所より
◇世界百科事典　二六巻
加藤国一郎氏より
◇女の砦　山手樹一郎
◇又四郎行状記　〃
◇楽天旅日記　山本周五郎
◇私は背広だ　篠原正瑛
◇いびき博士　池松武之亮
◇雨あがる　山本周五郎
◇おかしな奴　大仏次郎
◇隠筆探偵小説　高木彬光
◇山彦乙女　山本周五郎
◇将棋大名　上下　角田喜久雄
◇風流太平記　山本周五郎
◇嵐の松太郎　山手樹一郎

小須戸町秋祭句会

小須戸町俳句同好会

老鶏の下水を喫る残暑かな　虚秋
長雨も晴しダリヤの緋をもどす　香月
灰皿の煙を脱う団扇かな　水月
本の白はじき返さる火取虫　旺資
盃に火蛾遊ばせて嬶を口説く　向日葵
畑中に通過駅あり火取虫　杏水
対談は進まず灰皿みつめけり　流水